

STAGE+を楽しむ(98)(HP 収載)
—DG125 周年記念コンサート—

1. 始めに

前報(97)に引き続き、STAGE+の DG125 周年記念コンサートの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、DG125 周年記念コンサートの演奏を選びました。

DG125 周年記念コンサート：ネルソンス&チョ・ソンジン

ソウル 芸術の殿堂

再配信 2023 年 11 月 19 日 10:00

再配信 2023 年 11 月 19 日 20:00

ドイツ・グラモフォンの創立 125 周年を記念するコンサートの一環として、アンドリス・ネルソンス率いるゲヴァントハウス管弦楽団が、ライブツイヒの比類なき音楽遺産をふんだんに盛り込んだプログラムをソウル 芸術の殿堂からお届けします。プログラムはカペルマイスター（楽長）としてネルソンスの大先輩にあたるメンデルスゾーン作品から、演奏会用序曲と交響曲第 3 番「スコットランド」（1842 年にゲヴァントハウスで初演）。シューマンのコンチェルトでは、ソウル生まれで現代のシーンを代表する“真摯な”ピアニスト、チョ・ソンジンがソリストを務めます。

ソリスト:

チョ・ソンジン (ピアノ)

演奏:

ライブツイヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団

指揮:

アンドリス・ネルソンス

曲目:

フェリックス・メンデルスゾーン 序曲《美しいメルジーネの物語》op. 32

ロベルト・シューマン ピアノ協奏曲イ短調 op. 54

チョ・ソンジン(ピアノ)

フェリックス・メンデルスゾーン 交響曲第 3 番イ短調 op. 56 《スコットランド》



3. 試聴の経過

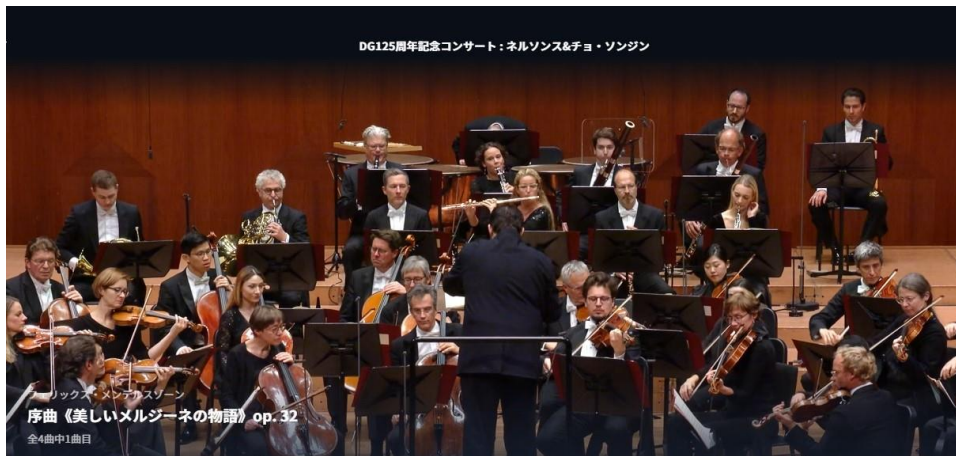
今回も LAN アキュライザーをスイッチングハブから PC への LAN ケーブルに装着して聴いていきます。

メンデルスゾーンの序曲《美しいメルジーネの物語》は初めて聴く曲ですが、メンデルスゾーンらしいロマンチックな曲です。

シューマンのピアノ協奏曲は、お馴染みの曲で、チョ・ソンジンのピアノは、力強く、また美しくホールに響きます。

アンコール曲はリストのコンソレーション第 3 番で抒情性にあふれた美しい曲です。メンデルスゾーンの交響曲第 3 番《スコットランド》は、これもお馴染みの曲で、スコットランドの荒野や湖に思いを馳せるような曲で、ネルソンス指揮ゲヴァントハウスの緻密な表現が活きています。

ソウルの芸術の殿堂というホールは初めてのホールですが、チョ・ソンジンのピアノもゲヴァントハウス管弦楽団も、響きがよく、良いホールという印象を受けました。



4. まとめ

LAN アクセラレイザーの効果により、チョ・ソンジンのピアノは、力強く、美しいピアノリズムと、ネルソンス指揮ゲヴァントハウスの緻密な表現が活きています。

以上